

平成 2 8 年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	芸能を用いた地域交流・地域活性化推進事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 准教授・玉村 恭
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) NPO 法人佐渡芸能伝承機構 (担当者職名・氏名) 代表・松田 祐樹
4 事業の趣旨・目的	近年、新潟県を含む各地で、地域の文化資源を活用した地域振興の方策が模索されている。人口減少の進む佐渡島でも、地域活性化の起爆剤となる方策が求められている。能楽や鬼太鼓などの伝統芸能が盛んな佐渡島の特性を生かし、芸能を媒介にした地域交流・地域活性化事業の可能性を、佐渡の地域住民と協働し、交流活動を企画・実施しながら探ることを目的とする。
5 事業活動報告	新潟県佐渡島において、地域住民と大学関係者、地域住民同士、異なる地域の人々の間での交流を促す事業を行った。具体的には以下のとおり。 ・平成 27 年 7 月 23 日～24 日に椿尾集落において「椿尾能まつり」を実施し、集落の能舞台および周辺施設を用いて地域住民との交流活動を行った。 ・同年 10 月 8 日黒根集落小田原神社例大祭において、地域住民と大学関係者（教員、学生）、地域外関係者（行政関係者、他地域住民等）が共同し、例大祭の企画・運営と交流活動を行った。
6 本事業で得られた成果	・地域の資源（能舞台と周辺施設、地域住民の文化活動等の文化資源）を生かした事業を企画することで、地域の特性に合った交流活動、活性化推進活動を展開することができた。 ・担い手の不足や継承者の不在が危惧される集落活動（祭礼など）に対する主として芸能面でのサポートを行うことで、地域活動の継続と活性化に寄与した。 ・上記二つの活動はともに、多くの地域住民と周辺住民の参加を得たのみならず、佐渡市関係者など地域外からの（自発的な）参加・協力もあり、事業全体を通して、「芸能を媒介にした地域交流・地域活性化事業」が小さくない可能性を持つことが示されたと考える。
7 その他 (成果物等の名称)	

提出期限：平成 2 9 年 4 月 1 4 日（金）